

〈解答〉

① (1) $(4, -8)$ (2) ① $\frac{3}{2}t^2$ ② 16π

② (1) ア 対頂角 イ COF ウ 対角線がそれぞれの中点で交わる

(2) $180 - 2a - b$ [°]

(3) $\frac{20}{7}$ 倍

配点 ②(1)各1点, 他各2点 13点満点

〈解説〉

① (1) 点Eの x 座標は点Dの x 座標と同じく 4 なので, 関数①の式である $y = -\frac{1}{2}x^2$ に

$x = 4$ を代入して,

$$y = -\frac{1}{2} \times 4^2$$

$$= -8$$

よって, その座標は

$$(4, -8)$$

となる。

(2)① 関数②の式である $y = x^2$ に $x = t$ を代入して,

$$y = t^2$$

関数①の式である $y = -\frac{1}{2}x^2$ に $x = t$ を代入して,

$$y = -\frac{1}{2}t^2$$

よって, D, Eの座標はそれぞれ

$$(t, t^2), (t, -\frac{1}{2}t^2)$$

と表されるので,

$$DE = t^2 - (-\frac{1}{2}t^2)$$

$$= \frac{3}{2}t^2$$

と表される。

② AはDと y 軸について線対称な位置にあるので, その x 座標は $-t$ と表される。

よって,

$$AD = t - (-t)$$

$$= 2t$$

とおける。 $AD = \frac{2}{3}DE$ なので、

$$2t = \frac{2}{3} \times \frac{3}{2}t^2$$

という方程式が成り立ち、この方程式を解くと、

$$t = 0, 2$$

となるが、 $t > 0$ なので、

$t = 0$ は問題に合わない。

$t = 2$ は問題に合う。

したがって、

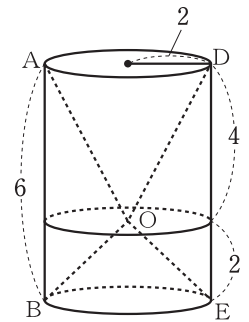
$$D(2, 4), E(2, -2)$$

である。 $\triangle DOE$ を y 軸を中心に1回転してできる立体は、右の図のように、半径2、高さ6の円柱から、半径2、高さ4の円すいと半径2、高さ2の円すいをくり抜いたものになるので、その体積は、

$$\pi \times 2^2 \times 6 - \frac{1}{3} \pi \times 2^2 \times 4 - \frac{1}{3} \pi \times 2^2 \times 2$$

$$= 16\pi$$

である。



② (1) [証明]

$\triangle AOE$ と $\triangle COF$ において、

点Oは長方形の対角線の交点なので、

$$AO = CO \quad \dots \textcircled{1}$$

平行線の錯角なので、

$$\angle OAE = \angle OCF \quad \dots \textcircled{2}$$

ア 対頂角なので、

$$\angle AOE = \angle \text{イ} \text{ COF} \quad \dots \textcircled{3}$$

①, ②, ③より、

1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、

$$\triangle AOE \equiv \triangle COF$$

対応する辺なので、 $EO = FO \quad \dots \textcircled{4}$

①, ④より、

ウ 対角線がそれぞれの中点で交わるので、

四角形AECFは平行四辺形である。

(2) 平行線の錯角なので、

$$\angle OCB = \angle OAD = a^\circ$$

長方形の2本の対角線は等しく、対角線はそれぞれの中点で交わるので、 $\triangle OBC$ は $OB = OC$ の二等辺三角形である。よって、

$$\angle OBC = \angle OCB = a^\circ$$

△OBCの外角なので、

$$\begin{aligned}\angle AOG &= \angle OBC + \angle OCB \\ &= 2a^\circ\end{aligned}$$

(1)の証明より、平行線の錯角なので、

$$\angle OAG = \angle OCE = b^\circ$$

△OAGの内角より、

$$\begin{aligned}\angle AGO &= 180^\circ - \angle AOG - \angle OAG \\ &= 180^\circ - 2a^\circ - b^\circ \\ &= 180 - 2a - b [^\circ]\end{aligned}$$

(3) 長方形ABCDの面積を S とすると、

$$\begin{aligned}\triangle ABC &= \frac{1}{2} \times \text{長方形ABCD} \\ &= \frac{1}{2} S\end{aligned}$$

AO = CO なので、

$$\begin{aligned}\triangle AOB &= \triangle BOC = \frac{1}{2} \times \triangle ABC \\ &= \frac{1}{4} S\end{aligned}$$

BG : GO = 6 : 7 なので、

$$\begin{aligned}\triangle ABG &= \frac{6}{6+7} \times \triangle AOB \\ &= \frac{6}{13} \times \frac{1}{4} S \\ &= \frac{3}{26} S\end{aligned}$$

CF : FB = AE : ED = 7 : 3 なので、

$$\begin{aligned}\triangle BOF &= \frac{3}{7+3} \times \triangle BOC \\ &= \frac{3}{10} \times \frac{1}{4} S \\ &= \frac{3}{40} S\end{aligned}$$

BG : GO = 6 : 7 なので、

$$\begin{aligned}\triangle OFG &= \frac{7}{6+7} \times \triangle BOF \\ &= \frac{7}{13} \times \frac{3}{40} S\end{aligned}$$

$$= \frac{21}{520} S$$

以上より、 $\triangle ABG$ の面積は $\triangle OFG$ の面積の

$$\begin{aligned} \triangle ABG \div \triangle OFG &= \frac{3}{26} S \div \frac{21}{520} S \\ &= \frac{20}{7} \text{ [倍]} \end{aligned}$$

である。

なお、問題文中に与えられた条件

$$BG : GO = 6 : 7$$

であることは、次のようにして求めることができる。

$CF : FB = AE : ED = 7 : 3$ なので、

$$\begin{aligned} \triangle ACF &= \frac{3}{7+3} \times \triangle ABC \\ &= \frac{7}{10} \times \frac{1}{2} S \\ &= \frac{7}{20} S \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \triangle ABF &= \frac{3}{7+3} \times \triangle ABC \\ &= \frac{3}{10} \times \frac{1}{2} S \\ &= \frac{3}{20} S \end{aligned}$$

$AO = CO$ なので、

$$\begin{aligned} \triangle AOF &= \frac{1}{2} \times \triangle ACF \\ &= \frac{1}{2} \times \frac{7}{20} S \\ &= \frac{7}{40} S \end{aligned}$$

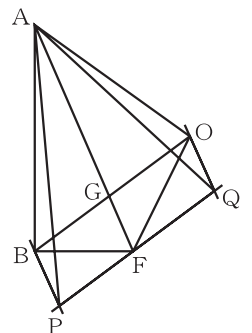
右の図のように、 F を通過して BG に平行な直線、 B 、 O を通過して AF に平行な直線を引き、それぞれの交点を P 、 Q とすると、

$$\triangle ABF = \triangle APF$$

$$\triangle AOF = \triangle AQF$$

なので、

$$\begin{aligned} \triangle APF : \triangle AQF &= \frac{3}{20} S : \frac{7}{40} S \\ &= 6 : 7 \end{aligned}$$



よって,

$$\begin{aligned} PF : QF &= \triangle APF : \triangle AQF \\ &= 6 : 7 \end{aligned}$$

となり,

$$\begin{aligned} BG : GO &= PF : FQ \\ &= 6 : 7 \end{aligned}$$